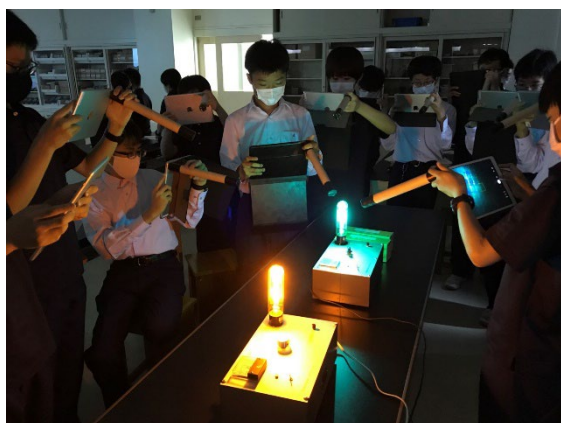


大学教授による出張特別講義

本学園の理数教育アドバイザーをお務めいただいている、東京理科大学教授の川村康文先生にお越しいただき、特別講義をしていただきました。テーマは『分光筒で省エネ電球について考える』。最初に、計画停電や自転車発電などの話題から、省エネについて簡単に講義してもらいました。2種類の電球を比較し、明るさや熱の違いを確認しました。この2種類の電球は何が違うのか、どのように区別するのか、といった問題提起から、「分光器」というキーワードが出てきました。今日のメインテーマの一つです。学校の授業では、まだ光の仕組みを詳しく勉強していませんが、日頃よく耳にするLEDについて理解する機会にもなりました。



講義のあとは、「分光筒」という実験道具を制作しました。分光筒を通して電球を見ると、光のスペクトルが見えます。白熱電球や蛍光灯とLED電球では、スペクトルの見え方が異なることが分かります。他にも、ナトリウムランプや水銀ランプを分光筒で覗いてみることで、光の特性について理解を深めました。



川村先生はテレビ番組にもたびたびご出演されている先生で、講義の終わりに、自分で作った分光筒にサインをもらっている生徒たちもいました。最近では、夏の電力需給のひっ迫が話題になっています。こうしたニュースにも関心を高めるきっかけになればと思います。